

■5月8日（金）は幻の滝「樽滝」落水の日

春と秋、年に2回しか姿を現さない幻の

滝「樽滝」の落水イベントが行われます。

当日は、樽滝周辺でのイベントのほか、

樽滝に隣接する糠千集落の有志「糠千もの

ずき会」によるそば祭りも開催されます。

新緑の樽滝を見た後は、そば祭りにもお

立ち寄りください。

◆樽滝の落水◆

時間 午前8時30分～午後4時

場所 国道403号 滝見橋

◆糠千ものずき会 そば祭り◆

時間 午前10時30分～概ね午後2時

場所 糠千公民館

内容 集落の名人が打つ「手打ちそば」の販売



■幻の滝 樽滝とは…

樽川溪谷に1年に2度その姿を現す「幻の滝 樽滝」。

岩肌を伝う水の流れと、新緑の緑とのコントラストが美しく、その姿をレンズに収めようと全国から多くのカメラマンが訪れます。

本来、樽滝とは樽川上流の不動明王を祭る神社のすぐ下に位置

する二つの滝「雄滝おだき」と「雌滝めだき」をあわせて「樽滝」と呼びます。

戦前までは5月8日にこの滝を見るため近村から多くの人が集

まり、すぐ近くにある不動明王にお参りをするという村民憩いの

場でした。しかし、水力発電所ができ、その余水を時折がけの上段

から落したことからできたこの「幻の滝」が「樽滝」として知られ

るようになりました。

○不動明王神社の下に位置する「雄滝」←



○雄滝のさらに下流には「めだき」があります←



※詳細は木島平村観光協会 0269-82-2800 までお問合せください。

会報原稿募集中!

【毎月5日まで「左記へ」送付ください。】

【送付先】〒389 2392 木島平村役場内 ふるさと応援団事務局

FAX 0269 82 4121 ☒ Kicho@ki-jimadaira.jp

すばらしき山登り

東京都昭島市 持田 寿晴(中島出身)

昨年から新たに祝日となった8月11日(山の日)に待望の高社山(たかやしろ)登山が実現しました。

たしか中学時代に遠足で登った以来だと思えます。

その頃は毎日見ている山なので特別な思いはありませんでした。そんな中、山の日の高社山登山のイベントがある事を広報きじま平で知り、さっそく申込みをしました。

登山は「中野」「夜間瀬」「木島平スキー場」「池の平」の4つのルートから頂上をめざすコースがあり、私は木島平スキー場ルートを選びました。

当日は「ホテルパノラマランド木島平」前に集合し9時半に出発しました。スキー場ゲレンデの第6、第7リフトの横を通り何度も休みながら約3時間をかけて頂上へ到着しました。頂上は各ルートから総勢約200人が集い、全員で童謡「ふるさと」を合唱しました。天気も快晴でながめも最高でした。「中野」「飯山」「木島平」「竜王」「志賀高原」等々360度の大パノラマで疲れも吹き飛びました。

私は本格的な登山はしませんが、実家のある中島から見上げる高社山は子供の頃から好きでした。

最近気づいたのですが、早朝、馬曲温泉に入浴した帰りに車で下ってくる「原大沢」からの高社山のながめが良くて、とても気に入っています。

今年も登山のイベントがあれば参加したいと思っています。

話は変わりますが、昨年6月に南米ペルーのマチュピチュ登山を含む10日間の旅行に妻と二人で参加しました。

日本からアメリカのロス経由でペルーのリマで乗り換え、クスコまでの28時間の長旅でした。クスコ空港は標高約3600メートルの所にあり飛行機を降りたとたん高山病になつてしまいました。息苦しく頭が痛く、頭がぼうつとして大変でしたが、空港から少し下ったホテルに着く頃には治っていました。

翌日、バス、電車、バスを乗り継いでマチュピチュの登山口へ。

そこからゆっくり30分弱歩いて、あの有名な景色の「天空都市マチュピチュ」へ到着しました。自分の目で見て歩く事ができました。あの感動は行った人にしか解りません。

どうしてこんな2400メートルの高地に都市を作ったのか、まだはつきり解明されていないそうです。その後、ブラジルとアルゼンチンにまたがるイグアスの滝やナスカの地上絵を周り、10日間の旅行を晴天に恵まれ楽しむことができました。

昨年の9月には「日本のマチュピチュ」と言われている「天空の城、竹田城址」へ旅行しました。駐車場から約20分かけて登りました。この日も天気が良くてすばらしい眺めでした。ただポスターにもなっている「雲海の中の竹田城址」が見られるのは、秋の冷えこんで晴れた早朝でないとダメだそうです。年に数回しかないそうです。

先日の3月18日の土曜日に久しぶりに木島平スキー場に滑りに行きました。天気が良く、第3リフトに乗って山頂に行きました。

「広報きじま平3月号」の表紙になつている眺めをそのまま見る事ができました。新たに木島平のすばらしさを再認識しましたが、30年ぶりにあの急斜面をふるえながら滑ってきました。

会員の皆様、どうか機会を作って木島平村に帰省して下さい。北陸新幹線を使えば2時間程で飯山駅に着きます。

また、思い出の投稿もどんどんお寄せ下さい。お待ちしております。



2016年6月ペルーマチュピチュにて